

# 中期目標の達成状況に関する評価結果

東北大学

平成21年3月

独立行政法人大学評価・学位授与機構



## I 教育に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 教育の成果に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（5項目）のうち、2項目が「良好」、3項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 教育内容等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（9項目）のうち、1項目が「良好」、8項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (3) 教育の実施体制等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（10項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、2項目が「良好」、7項目が「おおむね良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (4) 学生への支援に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標

(3項目)のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

#### (優れた点)

- 中期計画で「豊かな教養と人間性を備え、「科学する心」を持って知的探求を行うことができる人材を養成する」としていることについて、学生に科学的知識を習得させるため、従来の物理学、化学、生物学、地学に分かれた理科実験ではなく、物理学、化学、生物学、地学を融合させた理科実験を「自然科学総合実験」として設定したことにより、学生のアンケート結果において、従来型の理科実験と比較すると、実験に興味を持った学生が増加するなど、学生の学問への意欲の向上につながったことは、「科学する心」を持った人材の養成が図られている点で、優れていると判断される。
- 中期計画で「学際領域を含む多様な課題の把握と課題解決に必要な手法の開拓を実践できる能力を持つ人材を養成するために、高度な専門的知識を修得させる教育カリキュラムの充実を図る」としていることについて、若手研究者を養成するために国際高等研究教育院、実践的教育を行うための高度技術経営塾を設置し、また、教育改革プログラムに採択された「理学の実践と応用を志す先端的科学者の養成」等の6プログラムを通じ、教育カリキュラムの充実を進めていることは、大学院教育の質の向上が図られている点で、優れていると判断される。
- 中期計画で「アドミッション・ポリシーを周知するための広報活動体制を整える」としていることについて、東北大学のアドミッション・ポリシーや特徴等を広く高校生等に周知し、東北大学への入学意欲を高めるため、ウェブサイトの活用、オープンキャンパス企画の充実、東北大学主催の進学説明会を開催するなど、入試広報活動の企画・実施体制の整備を図ったことにより、オープンキャンパスの参加者数が増加するなどの成果が上がっていることは、優れていると判断される。
- 中期計画「必要に応じて学生等による授業評価を導入し、学部長・研究科長等は、その結果を授業担当教員にフィードバックする」について、各学部・研究科等における学生の授業評価結果が、授業担当教員の個別データだけでなく授業科目別の集計データについても送付され、各教員の教育活動の継続的な改善に結びついていることは、優れていると判断される。

#### (特色ある点)

- 中期計画「ISTU (Internet School of Tohoku University) の大学院講義を活用したカリキュラムの整備に努める」について、各研究科において主体的に授業科目の選定とコンテンツの作成を進め、1,800におよぶコンテンツが作成されていることは、ISTUを活用したカリキュラムの整備が積極的に行われ、インターネットを活用した教育方法の充実が図られている点で、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画「効果的・効率的な教育研究体制の実現のため、一定期間、教育あるいは研究のいずれかに重点を置くなど、教員間の分業体制の工夫に努める」について、教員の分業体制の整備を進め、教育研究の特性に応じたサバティカル制度を導入してい

ることは、効果的・効率的な教育研究体制の整備に努めている点で、特色ある取組であると判断される。

- 中期目標「学生の履修相談・進路相談、心身全体の健康維持等への支援体制を整備・拡充する」について、学生の履修相談、進路相談に関して、「クラス担任」、「アドバイザー教員」等を配置し、きめ細かな履修相談・履修指導を行うとともに、キャリア支援センターにおいて、就職・進路に関するガイダンスやセミナーを開催し進路相談・進路指導を行うなどしていることは、学生への支援体制の整備・拡充を意欲的に進めている点で、特色ある取組であると判断される。

## II 研究に関する目標

### 1. 達成状況の評価結果

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が非常に優れている

【判断理由】 「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、1項目が「良好」であり、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### (2) 研究実施体制等の整備に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

【判断理由】 「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標（10項目）のうち、4項目が「良好」、6項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

#### (優れた点)

- 中期目標で「新たな学術領域における研究を推進し、優れた成果の創出に努める」としていることについて、21世紀COEプログラム、科学技術振興調整費戦略的研究拠点育成プログラム、グローバルCOEプログラム、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに採択された、人文・社会科学から自然科学にわたる幅広い分野の研究を推進し、領域横断的な新たな学術領域において、着実に成果を上げていることは、優れていると判断される。
- 中期計画「柔軟で効率的な教育研究体制の充実のため、学内外の教育研究環境の変化、社会の要請、評価等に基づいて、施設の新設・再編や拡充に努める」について、新たな発展領域等に対する人的資源等の戦略的配置を行うため、国際高等研究教育機構、原子分子材料科学高等研究機構を設置し、また、新たな医療技術の開発に努め、東北発の先端医療を世界に発信することを目指し、東北6県を包括した未来医工学治療開発センターを設置するなど、教育研究環境の変化や社会の要請等に応じた研究支援体制の整備を図っていることは、優れていると判断される。

#### (特色ある点)

- 中期計画「研究水準・成果の向上のために、一元化した研究情報データベース等を用いて、定期的に自己評価を実施・公表する」について、各部局において、研究水準・成果向上のために定期的に全学統一的な評価基準による自己評価を行うとともに、外部評価を実施していることは、意欲的に研究水準、研究成果の向上に努めている点で、特色ある取組であると判断される。

### III その他の目標

#### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

##### 1. 評価結果及び判断理由

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

【判断理由】 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「良好」であることから判断した。

##### 2. 各中期目標の達成状況

###### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である

[判断理由]「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（6項目）のうち、4項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点

(優れた点)

- 中期計画「研究推進・知的財産本部を中心として、産学連携促進計画の立案や研究情報等の公開を推進するとともに、未来科学技術共同研究センターと連携して、新技術開発・技術移転等の支援を図る」について、研究推進・知的財産本部を産学官連携推進本部に改組・拡充し、機能の強化を図ったこと、また、特許明細書作成セミナー、特許検索セミナー等を毎年開催するなど、教職員に対する技術移転等の支援・啓蒙活動に努める取組を実施したこと等により、発明件数、技術移転件数、ベンチャー企業数等が着実に増加するなどの成果が上がっていることは、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「公開講座、公開シンポジウム、オープンキャンパス等を通して、地域住民との相互理解に基づく文化的な交流を図るとともに、本学の教育研究活動の公開を積極的に推進する」について、東北大学創立百周年事業として、「東北大学の至宝－資料が語る1世紀－」「文豪・夏目漱石 そのころとまなざし」を開催するなど、積極的に地域住民との交流を図り、東北大学の教育研究活動を公開していることは、特色ある取組であると判断される。